

## 京都観光振興計画 2025（仮称）中間案からの主な変更点

## 1 タイトル、サブタイトル案（表紙，P5）

京都観光振興計画 2025  
～住んでよし，訪れてよし，働いてよし。歴史や文化を希望にかえるまち 京都～

## 2 「策定に当たって」の追加及び「策定の趣旨」の修正（P3・P5）

- ・ 計画策定に当たっての志を高らかに謳うべき，これまでの経緯を踏まえた京都の文化と観光が果たす役割についての強いメッセージを内外に示すべきとの御意見を踏まえ，「策定に当たって」を追加するとともに「策定の趣旨」を修正。

## 3 「京都観光を振興する意義」の修正（P4）

- ・ 持続可能な観光を目指すためには，市民が暮らしやすい，市民生活を最優先したまちを目指す必要があるとの御意見を踏まえ，京都観光を振興する意義の一つ目の項目に市民を追加し，「京都の「光」によって，市民や観光客など人々の心や人生の豊かさを高める。」と修正。

## 4 「新型コロナウイルス感染症の影響と京都観光の回復に向けた方向性」の修正（P27～P29）

- ・ 中間案以降の京都観光における新型コロナウイルス感染症の影響や，この間に行ってきた新型コロナウイルス感染症に対する取組等を時点修正。

## 5 「2030年に実現を目指す5つのまちづくりと観光」の修正（P32・P33）

- ・ 観光の経済効果が市の財政にも貢献する視点を追記。
- ・ 環境に配慮した持続可能な観光に関する指標として，観光客・観光事業者における環境に配慮した取組の実施状況を追記。

## 6 「5つのまちづくりと観光の実現に向けて必要な観点（横断的な観点）」の修正（P34）

- ・ 「新型コロナウイルス感染症による影響からの力強い回復」の観点を，「計画前半期の最重要観点」から「計画期間の最重要観点」へ修正。

## 7 「5つの目指す姿の実現に向けた取組」における「コロナ禍からの回復期における重点取組」の修正（P35～P54の紫の網掛け箇所）

- ・ 5つの柱ごとの「コロナからの回復期における重点取組」について拡充し，それに伴って文章を修正。

## 8 「5つの目指す姿の実現に向けた取組」の施策等の修正

- ・ 「観光による地域経済等への貢献の最大化」において、観光による地域経済の貢献の最大化を図ることにより、税金の増加等にもつなげていくことを追記。(P37)
- ・ 「京都の「光」の磨き上げと新しい魅力の創出」において、京都の歴史や文化の学びにつながる観光の充実を追記。(P39)
- ・ 「上質な観光サービス・体験等の充実と情報発信強化」において、富裕層の文言を削除するとともに、上質な観光サービス等に対する消費が、文化や伝統工芸の継承等にも貢献することを追記。(P44)
- ・ 「地域の文化や歴史を学ぶ、文化の担い手としての育成支援」において、宿泊施設の従事者を中心とした研修や勉強会等の実施を、広く観光事業従事者を対象とする表現へ修正。(P46)

## 9 「推進体制・推進の仕組み」の修正 (P55)

- ・ 「オール京都での計画の推進」において、京都観光に関わる各主体間で連携を図ることを追記。